

ミレーナの挿入に関して下記の点にご注意ください。

- 1:ミレーナ挿入は月経第4日から第7日までの月経中に行います。
- 2:ミレーナ挿入前に検査が必要です。
  - A:月経の1週間ほど前、排卵期の子宮頸管粘液(水あめのような帯下)が収まってから子宮頸がん検査、膣分泌物培養検査2種類を行います。  
頸管粘液が多く分泌されている時期には検査を行いません。
  - B:月経開始後、月経第4日から第7日ごろまでの月経中に子宮体癌の検査を行います。
- 3:上記の検査がすべて問題なく、超音波検査も問題なく、ミレーナ挿入の適応がある場合に、次の月経第4日から第7日までの月経中に行います。  
月経血の量が減少している場合は第3日目も可能な場合がありますが、第8日以降は挿入しません。
- 4:培養検査などで異常がある場合は治療を行ってからの挿入となります。
- 5:従いまして、来院から2回目の月経中に挿入しますので、挿入には、最短で3回の受診、6週間以上の日数が必要となります。  
なお挿入後は(1週間後)、1ヶ月後または3ヶ月後、6ヶ月後に受診が必要で、その後は6ヶ月毎に受診して頂いています。
- 6:挿入困難な場合はラミケンR(子宮頸管拡張器)の前処置が必要な場合があります。  
ラミケンRを挿入後に、ミレーナが挿入できるようになるまでに3-4時間以上必要です。  
従って、ミレーナ挿入のご予約は月・水・金の午前診でお願いします。  
実際のミレーナ挿入は午前診の一番最後、または午後診になります。  
挿入後に気分不良が生じることがあります。  
ミレーナ挿入後は院内での安静が必要です。  
挿入後に予定を入れることはお控えください。  
お時間のご相談などは受付までお声掛けください。
- 7:授乳中の方は、月経が再開していても本来の月経とは異なり、子宮内膜が厚いままであることが多く、ミレーナが脱出する可能性が増えますので授乳が終了してからの挿入をお勧めしています。

以上のことをご了解いただいたうえで受診をお願いします。